

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	2852
部 名	環境事業部	課 名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
事務事業名	リサイクルスクエア運営事業				
予算上の事務事業名	リサイクルスクエア運営事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築			事業開始年度	
施 策 名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進			平成5年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市リサイクルスクエア事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 施設運営 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
ごみの減量化・資源化のために、家庭で不要となった家具や日用品の再利用を通じて市民のごみに対する理解を深めてもらうことを目的とする。			市内在住で中学生以上の市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
年間展示数	231日(通常月:1日~20日、1月:8日~20日、2月:1日~18日)				
年間来場者数	橋本台 11908人	新磯野 10,227人			
展示品総数	橋本台 600点	新磯野 545点			
引取総数	橋本台 562点	新磯野 500点			
応募総数	橋本台 7,745人	新磯野 4,929人			
平均倍率	橋本台 12.9倍	新磯野 9.0倍			
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内19市の中で、同様の事業を実施している市は16市(未実施は、三浦市・秦野市・大和市)で、県内でもかなり浸透している事業であると言える。また、リサイクル家具を無料またはいくらかの寄付金のみで提供しているのは、実施市16市中、本市を含めて5市のみである。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	28,235	26,657	25,462	29,532	31,532
一般財源	28,235	23,065	22,200	23,532	25,532
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	3,592	3,262	6,000	6,000
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	36,625	34,667	33,532	37,602	39,602
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	リサイクルスクエア運営事業			対象名称(単位)	展示数(点)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	28,235	23,065	22,200	23,532	25,532
対象数	1,031	1,001	1,107	1,100	1,100
単位あたり経費(円)	27,386	23,042	20,054	21,393	23,211
前年度比		0.84	0.87	1.07	1.08

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	展示品の引取り率		指標式と指標の説明	引取数/展示数（ごみの減量に直結する度合いをみる）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	956.0	929.0	1,062.0			
目標	1,031.0	1,001.0	1,107.0	0.0	0.0	
目標達成度	0.93	0.93	0.96			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	来場者の応募率		指標式と指標の説明	応募者数/来場者数（応募率で展示品のニーズをみる）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	14371.0	13817.0	12,674.0			
目標	27038.0	24324.0	22,135.0	0.0	0.0	
目標達成度	53.2	56.8	57.3			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		橋本台リサイクルスクエアの老朽化による建て替え整備のほか、新磯野リサイクルスクエアについては、引き続きその運営に努め、ごみ減量及び「物を大切に作る心」の育成を図る。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 成果・結果のPRIに努め、リユースの意識高揚を図り、もって市民のごみ減量意識の涵養を図る。			14 課題として認識されたこと 制度の周知及び建替え整備する橋本台リサイクルスクエアについては、周辺清掃関連施設との有機的な連携を持った施設運営を図ること。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				